

■ 学術講演会特別プログラム ■

特別講演 1

耳鼻咽喉科領域講習

10月7日（木） 11:10～12:10

司会：福田 宏之 日本音声言語医学会 名誉会員 / 元日本喉頭科学会 理事長

SL1 Neuromyectomy of the thyroarytenoid muscle for the treatment of adductor spasmodic dysphonia - My 20 years of experience

Domingos Hiroshi Tsuji ENT Department, University of São Paulo School of Medicine, São Paulo, Brazil

特別講演 2

10月8日（金） 10:50～12:20

司会：香取 幸夫 東北大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 教授 / 日本音声言語医学会 理事長

SL2 文字言語文化と音声言語文化

金田一 秀穂 杏林大学 外国語学部

教育講演 1

10月7日（木） 10:30～11:00

司会：西澤 典子 北海道大学病院 客員臨床教授

痙攣性発声障害の基礎

EL1-1 痙攣性発声障害の基礎—言語聴覚士の立場から—

柳田 早織 北海道医療大学 リハビリテーション科学部 言語聴覚療法学科

EL1-2 痙攣性発声障害の基礎「音声外科医の立場から」

溝口 兼司 独立行政法人 国立病院機構 北海道医療センター

共催：ノーベルファーマ株式会社

教育講演 2

10月7日（木） 13:10～13:40

司会：小林 一女 昭和大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 教授

EL2 難聴の診断からリハビリテーションまで（小児を中心に）

石川 浩太郎 国立障害者リハビリテーションセンター

安部 知華 国立障害者リハビリテーションセンター

JSLP セミナー 1

耳鼻咽喉科領域講習

10月7日（木） 13:50～15:05

司会：小川 郁 慶應義塾大学 名誉教授
深浦 順一 国際医療福祉大学大学院 保健医療学専攻言語聴覚分野 教授 / 一般社団法人 日本言語聴覚士協会 会長

よりよい聴こえをめざして - 医師と言語聴覚士互いの役割再発見 -

JS1-1 補聴器のフィッティングにおける医師と言語聴覚士の役割

西村 忠己 奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

JS1-2 当科補聴外来での耳鼻咽喉科医師と言語聴覚士の連携

齋藤 修 奈良県立医科大学附属病院

JS1-3 人工内耳のよりよい聴こえをめざして 一医師の役割一

南 修司郎 国立病院機構東京医療センター 耳鼻咽喉科

JS1-4 人工内耳に携わる言語聴覚士の役割

榎本 千江子 独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター 耳鼻咽喉科

JS1-5 聴覚情報処理障害 (APD) における「言葉の聞き取り困難」へのアプローチ

岡本 康秀 東京都済生会中央病院 耳鼻咽喉科

共催：マキチ工株式会社

JSLP セミナー 2**耳鼻咽喉科領域講習**

10月8日 (金) 14:30～15:30

司会：中川 尚志 九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科学分野 教授

遺伝性疾患の症候として音声・言語・聴覚障害を診る**JS2-1 遺伝性神経筋疾患における音声言語障害を診る～脳神経内科医の立場から**

富田 聡 国立病院機構 宇多野病院 脳神経内科、臨床研究部

JS2-2 難聴にまつわる遺伝医学入門

増田 正次 杏林大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

JS2-3 遺伝性疾患の症候として“こえ”の障害を診る

門園 修 東京女子医科大学附属八千代医療センター 耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科

研究助成成果報告

10月7日 (木) 12:40～13:10

司会：原 由紀 北里大学 医療衛生学部 リハビリテーション学科 言語聴覚療法学専攻 言語療法学 専任准教授

RF-1 ヒト声帯黄斑内細胞のエネルギー代謝 - エネルギー代謝と幹細胞機能の制御 -

佐藤 公則 久留米大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

イブニングセミナー**耳鼻咽喉科領域講習**

10月8日 (金) 17:20～18:20

司会：梅野 博仁 久留米大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 教授/日本喉頭科学会 理事長

Professional singerのノドの調節機構とその治療**ES1-1 歌唱のメカニズム**

平野 滋 京都市立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

ES1-2 professional singerの音声障害に対する音声治療

前川 圭子 神戸市立医療センター中央市民病院 耳鼻咽喉科

〈このセミナーはGSK 医学教育事業助成から支援を受けています〉

■ 一般演題プログラム ■

10月7日（木）

第1群 音声障害1

09:00～09:40

座長：塩谷 彰浩 防衛医科大学校 病院長 副校長 耳鼻咽喉科学 教授

001 COVID-19感染拡大時期における音声障害患者の変遷

田代 名帆子 医療法人財団順和会 山王病院 リハビリテーションセンター/
国際医療福祉大学 東京ボイスセンター

002 医療従事者におけるマスク着用での音声疲労に関する検討

田口 亜紀 県立広島大学 保健福祉学部 保健福祉学科/
松山リハビリテーション病院 耳鼻咽喉科

003 過去18年の音声外来統計：高齢化に焦点を当てて

杉戸 亮介 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科/日本赤十字社医療センター 耳鼻咽喉科

004 音声データからの年齢推定

山内 彰人 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科

第2群 SD

09:45～10:25

座長：讃岐 徹治 名古屋市立大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 准教授
岩田 義弘 藤田医科大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科005 当科における内転型痙攣性発声障害に対するボツリヌストキシン治療
ー連続投与をおこなった症例の検討ー

岩田 義弘 藤田医科大学 耳鼻咽喉科 頭頸部外科

006 外転型痙攣性発声障害に対してボツリヌストキシン注入術を施行した2例

上斗米 愛実 国際医療福祉大学 東京ボイスセンター

007 混合型痙攣性発声障害を疑われた片側性声帯不全麻痺に伴う後筋過誤支配を
認めた一例

許斐 氏元 声とめまいのクリニック 二子玉川耳鼻咽喉科

008 痙攣性発声障害疾患レジストリ開発と運用に関する研究

讃岐 徹治 名古屋市立大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科/
厚労科研難治性疾患政策研究事業/AMED難治性疾患実用化研究事業

第3群 補聴器・人工内耳

15:10～16:10

座長：土井 勝美 近畿大学医学部 耳鼻咽喉科学講座 教授

- 009** 当クリニックにおける補聴器外来の変遷と特徴；
言語聴覚士と認定補聴器技能者の役割に焦点を当てて
岡野 由実 群馬パース大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科/
目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科
- 010** 片側難聴児への補聴器装用の意義に関する検討
中原 啓 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 耳鼻咽喉科頭頸部外科/
地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 聴覚・言語支援センター
- 011** 頭頸部がんの終末期に生じた難聴に対して、補聴器を装用することでQOLが改善した
Aya世代の一症例
横山 友徳 川崎医科大学附属病院リハビリテーションセンター
- 012** 難聴高齢者における補聴器装用前後の主観的評価の改善度
塚原 恵 守谷慶友病院 つくば難聴めまいセンター
- 013** 人工内耳装用者の就労・就学先における環境に関する質問紙調査
大西 晶子 京都大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 014** 人工内耳装用児典型例における語彙理解力の到達度別検討
赤松 裕介 東京大学医学部 耳鼻咽喉科学教室

第4群 言語基礎・言語障害（失語、高次脳障害、言語発達）

16:15～17:15

座長：益田 慎 県立広島病院 小児感覚器科 主任部長

- 015** 初期の時間、位置、場所を表示する語の広がり と 動作語獲得における速度：
その基盤にある発達
小山 正 神戸学院大学 心理学部
- 016** ダウン症児の構文理解力
石上 志保 東京通信病院
- 017** ダウン症幼児の発語の発達経過～保護者による「ことばの記録」から
石上 志保 東京通信病院
- 018** 難聴を主訴に耳鼻科外来を受診した言語発達障害症例
川上 紀子 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科
- 019** 社会的規範に対する意識と行動変容の変化—健聴者と発達障害者の比較から—
手島 捺美 国際医療福祉大学熱海病院 リハビリテーション部
- 020** 聴覚障害幼児の言語指導法 —行動発達記録を基にした言語指導—
原田 浩美 東京工科大学 医療保健学部 リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻

第5群

嚥下

17:20～18:10

座長：清水 充子 埼玉県総合リハビリテーションセンター

- 021** 当院におけるコロナ禍の対応として観察室患者の嚥下評価にタブレット端末を用いた事例
遠藤 貴之 医療法人社団苑田会 苑田第一病院 リハビリテーション部
- 022** 高齢者における嚥下機能の低下兆候と発声機能との関連性
勝又 恵美 ウィル訪問看護ステーション江戸川
- 023** 地域在住要支援高齢者におけるオトガイ舌骨筋の筋断面積と四肢骨格量の関連性
平田 文 国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科
- 024** 嚥下内視鏡検査と食形態の選定について
山本 茜 公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 リハビリテーション部
- 025** ハント症候群による嚥下障害に頬杖位が有効であった一例
大森 史隆 福岡歯科大学医科歯科総合病院 耳鼻咽喉科

■ 一般演題プログラム ■

10月8日（金）

第6群 聴覚障害

09:00～09:50

座長：増田 正次 杏林大学医学部 耳鼻咽喉科学教室 准教授

- 026** 健聴児における言語情報と感情情報の一致および不一致の判断について：
視覚刺激と聴覚刺激による差異の検討
笹目 友香 国際医療福祉大学 成田保健医療学部 言語聴覚学科
- 027** 聴覚情報処理機能訓練アプリを適応した1例
八田 徳高 川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科
- 028** 聴覚障害児のナラティブ構成における内容再生法と自発産生法の比較
大原 重洋 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部/
豊田市こども発達センター 児童発達支援センター（難聴主）なのはな
- 029** 自閉症と診断された難聴学齢児の表情と身振りの理解
ーアイトラッキングを用いた検討
平島 ユイ子 福岡国際医療福祉大学 言語聴覚専攻科
- 030** 周波数変化がギャップ検出閾値に及ぼす影響
山本 弥生 国際医療福祉大学 成田言語聴覚学科

第7群 音声障害2

09:55～10:45

座長：原 浩貴 川崎医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室 教授

- 031** STの臨床のための音響学
竹内 京子 順天堂大学
- 032** 聴覚心理的評価（GRBAS尺度）の信頼性の検証
小崎 晃裕 名古屋市立大学病院
- 033** STは医師からどのような情報を得て音声治療を行うか：ボイスマップの活用
斉田 晴仁 さいだ耳鼻咽喉科クリニック/ヴォイステック音声研究所/
日本大学 芸術学部音楽科/昭和大学 耳鼻咽喉科
- 034** YouTube動画を用いた音声治療の自主トレーニング
北井 妙 戸田中央総合病院 リハビリテーション科
- 035** 音声治療における音声訓練支援システム「スマートチューブ」の運用
川村 直子 姫路獨協大学 医療保健学部

第8群 構音障害

13:00～13:40

座長：倉智 雅子 国際医療福祉大学 言語聴覚学科 学科長・教授

- 036** 発話条件による連母音と閉鎖音の第2フォルマント変化の違い
田村 俊暁 新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚学科/
新潟医療福祉大学大学院 医療福祉学研究科
- 037** 個別訓練と集団訓練の併用が社会復帰に有用であった若年舌癌術後の1例
山田 紘子 昭和大学歯科病院 口腔リハビリテーション科
- 038** 舌切除再建術後患者の文章音読明瞭度に及ぼすプロソディー及び構音機能の影響
川村 なごみ 国際医療福祉大学三田病院 リハビリテーション室
- 039** 機能性構音障害児の両唇音産生時における運動能力についての検討
清水 一真 国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター

第9群 音声障害3

13:45～14:25

座長：大森 孝一 京都大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授

- 040** 音声障害における関連症状の検討—胃酸逆流，不眠，精神症状について—
栗原 みゆき 山王病院 リハビリテーションセンター/
国際医療福祉大学 東京ボイスセンター
- 041** 甲状腺術後声帯麻痺症例の検討
倉上 和也 山形大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座
- 042** 声帯白板症の再発危険因子の検討
河江 千尋 日本大学医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野
- 043** 病的音声に対するディープラーニングによるアプローチ
加納 滋 加納耳鼻咽喉科医院

第10群 音声4

15:40～16:20

座長：石毛 美代子 東北文化学園大学 医療福祉学部 言語聴覚学専攻 教授

- 044** 口蓋扁桃摘出術前後における音声変化の検討
荒木 直人 公立置賜総合病院 耳鼻咽喉科
- 045** 声帯結節の再発と発声機能の関連についての検討
中山 陽介 医療法人財団順和会 山王病院リハビリテーションセンター/
国際医療福祉大学 東京ボイスセンター
- 046** 当院における低緊張性発声障害症例の検討
後藤 多嘉緒 東京大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 047** 変声障害に対するリハビリテーション治療の臨床的検討
尾池 功 戸田中央総合病院 リハビリテーション科

第11群 吃音

16:25～17:15

座長：森 浩一 国立障害者リハビリテーションセンター 総長

- 048** 吃音児の談話特徴に関する予備的検討
白石 紗衣 豊村医院 耳鼻咽喉科 音声聴覚メディカルケア
- 049** 発吃と吃音症状の予後に関わる環境的要因の調査
ー川崎西部地域療育センターの例を通してー
横山 智子 川崎西部地域療育センター
- 050** 吃音症に対する低強度認知行動療法の治療効果の検討
富里 周太 慶應義塾大学医学部 耳鼻咽喉科学教室/こうかんクリニック 耳鼻咽喉科
- 051** 行動面に困難さのある発達性吃音児に対して環境調整の一環として
ペアレント・トレーニングを導入した介入経過
湯浅 美琴 JAとりで総合医療センター/
豊村医院耳鼻咽喉科 音声・聴覚メディカルケア
- 052** 成人吃音者に対する認知行動療法の症例検討
間 三千夫 りんくう総合医療センター 頭頸部外科 耳鼻咽喉科

■ ポストコンGRESセミナー ■

10月9日（土）

（配信拠点：ステーションコンファレンス 東京）

メディカルスタッフの視点から日常診療のギモンに答える

1. ここが聞きたい！「音声障害の検査・診断・治療のポイント」

〈このセミナーはGSK医学教育事業助成から支援を受けています〉

講師（講演順） 間藤 翔悟 杏林大学医学部附属病院 リハビリテーション室 言語聴覚士
小川 真 JCHO大阪病院 耳鼻いんこう科 部長
谷合 信一 防衛医科大学校 耳鼻咽喉科学講座 助教、言語聴覚士
二藤 隆春 埼玉医科大学総合医療センター 耳鼻咽喉科 准教授

2. 何をみてどのように対応する？「気管切開患者への対応とカニューレの取り扱い」

講師（講演順） 岡田 美紀 東京大学医学部附属病院 摂食・嚥下障害看護 認定看護師
宮本 真 杏林大学医学部 耳鼻咽喉科学 講師
宮田 恵里 関西医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室 言語聴覚士
大久保 啓介 佐野厚生総合病院 耳鼻咽喉科 部長

共催（講演順） コヴィディエンジャパン株式会社、泉工医科工業株式会社、
株式会社高研、スミスメディカル・ジャパン株式会社